

横浜市の青少年自立支援施策

An aerial photograph of the Yokohama waterfront. On the left, a prominent white, curved modern building stands out. In the center, a large Ferris wheel is visible, surrounded by colorful structures and a parking lot. The water of the harbor is dark blue, with several ships docked at piers. The background shows more of the city and the distant sea.

平成20年9月18日

横浜市こども青少年局

横浜市青少年自立支援研究会

(平成18年度)

- ・学識経験者
- ・NPO、市民団体関係者
- ・教育関係者
- ・地元企業関係者
- ・行政職員



●青少年の状況把握

- ・統計データの分析
- ・本人、家族、支援機関へのアンケート、ヒアリング調査

●自立支援策の検討

- ・課題の抽出と対応策の検討
- ・モデル事業の実施と検証
- ・公民の役割分担とネットワークの構築



提言



横浜市が自立支援の対象とする若年層の類型図

安定的な就労・就学状態にある層

正規雇用者

不安定な就労状態にある層

派遣・パート
労働者

主婦

学生

フリーター

「求職型」無業者
(失業者)

「非求職型」無業者

社会との関係が希薄な層
(ひきこもり)

若年無業者

ニート

「非希望型」無業者

統計データから見えてきたもの
アンケート・ヒアリング調査で
明らかになったこと

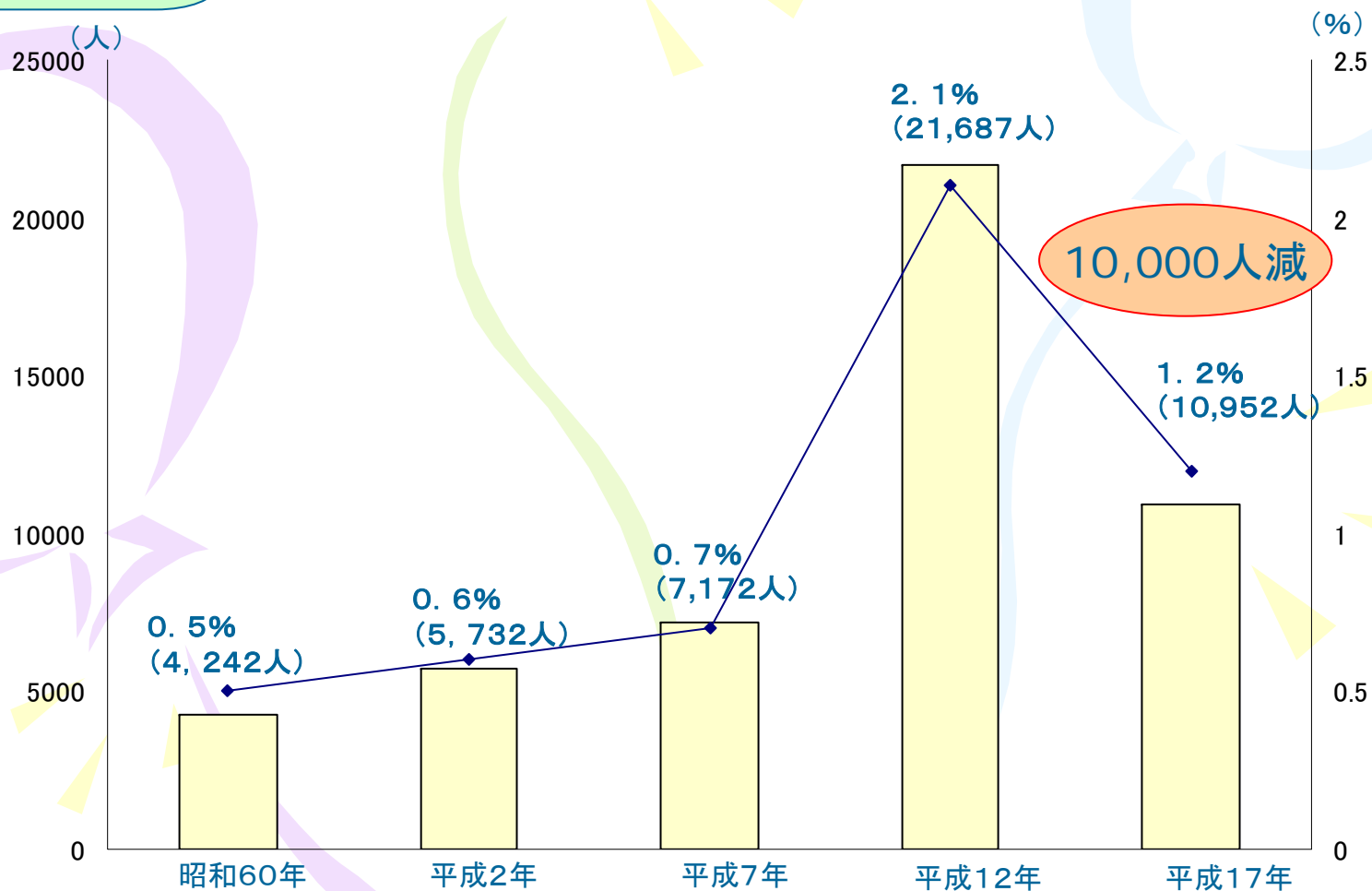


統計データ

横浜市における15歳～34歳までの「ニート」の数・比率の推移

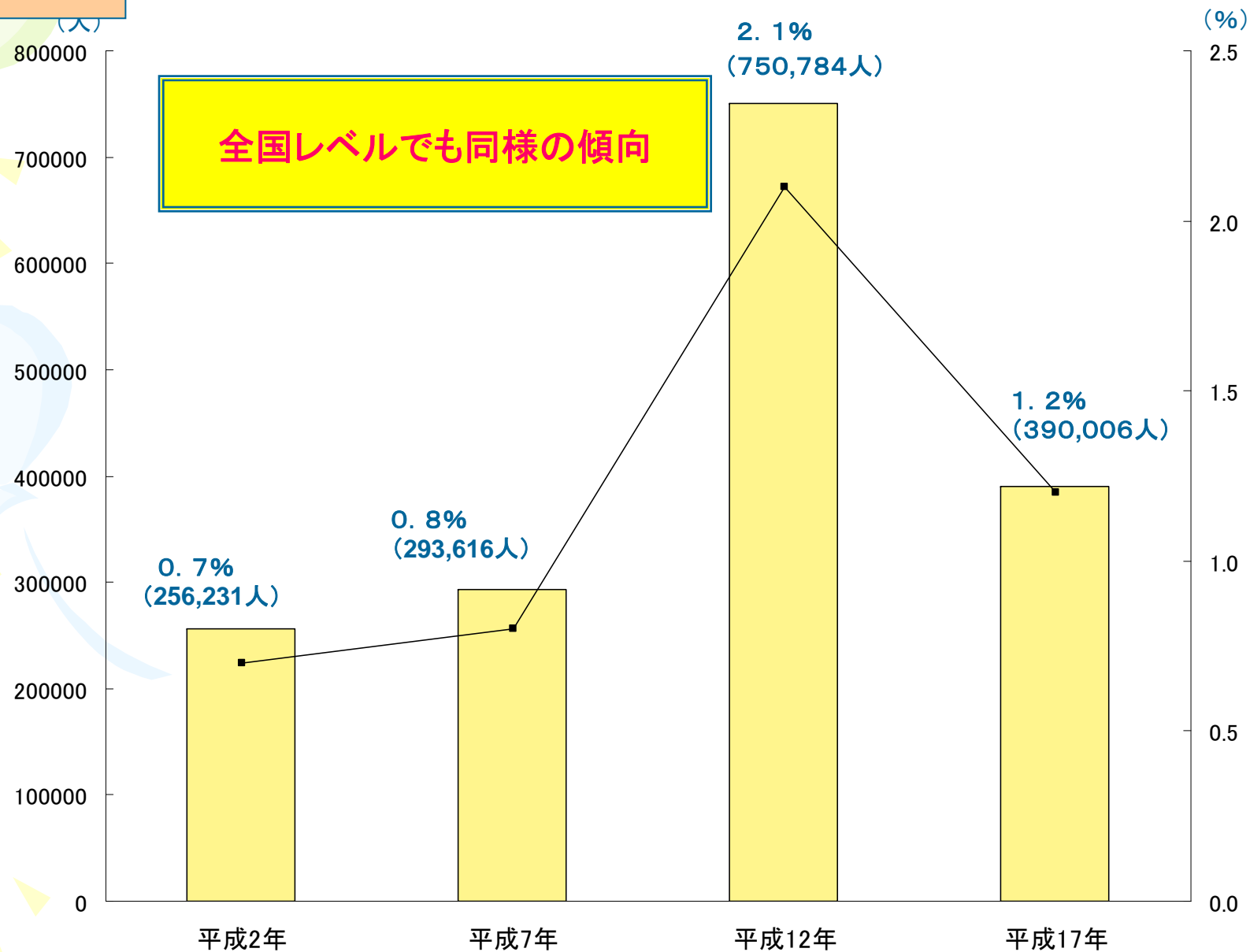
国勢調査データ
から

5年間で「ニート」の数は半減した



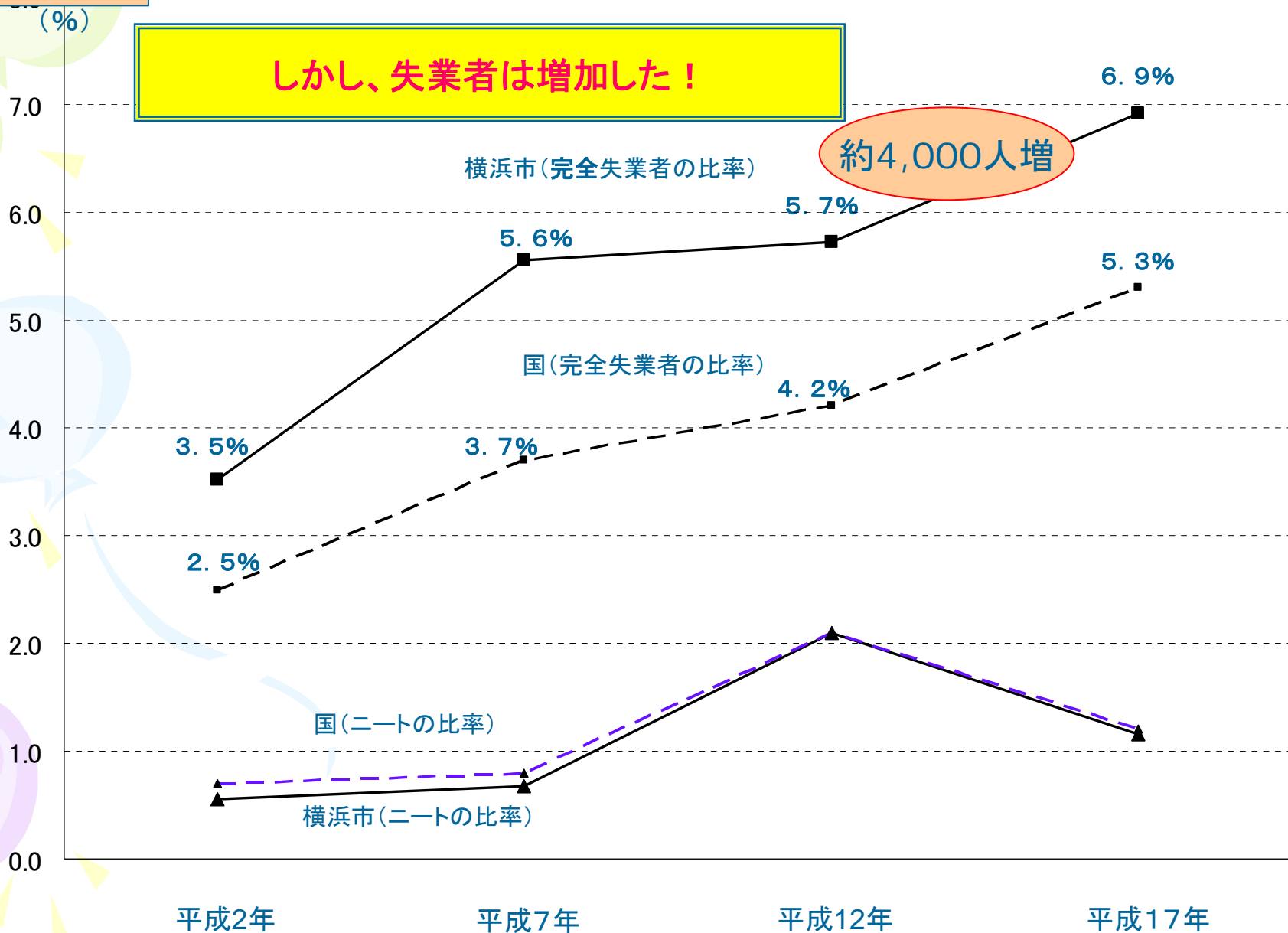
統計データ

全国における15歳～34歳までの「ニート」の数・比率の推移



統計データ

国・横浜市における15歳～34歳までの「ニート」及び失業者の比率の推移



統計データ

横浜市の若年短時間就業者(いわゆるフリーター)数の推移

フリーターも増加した！

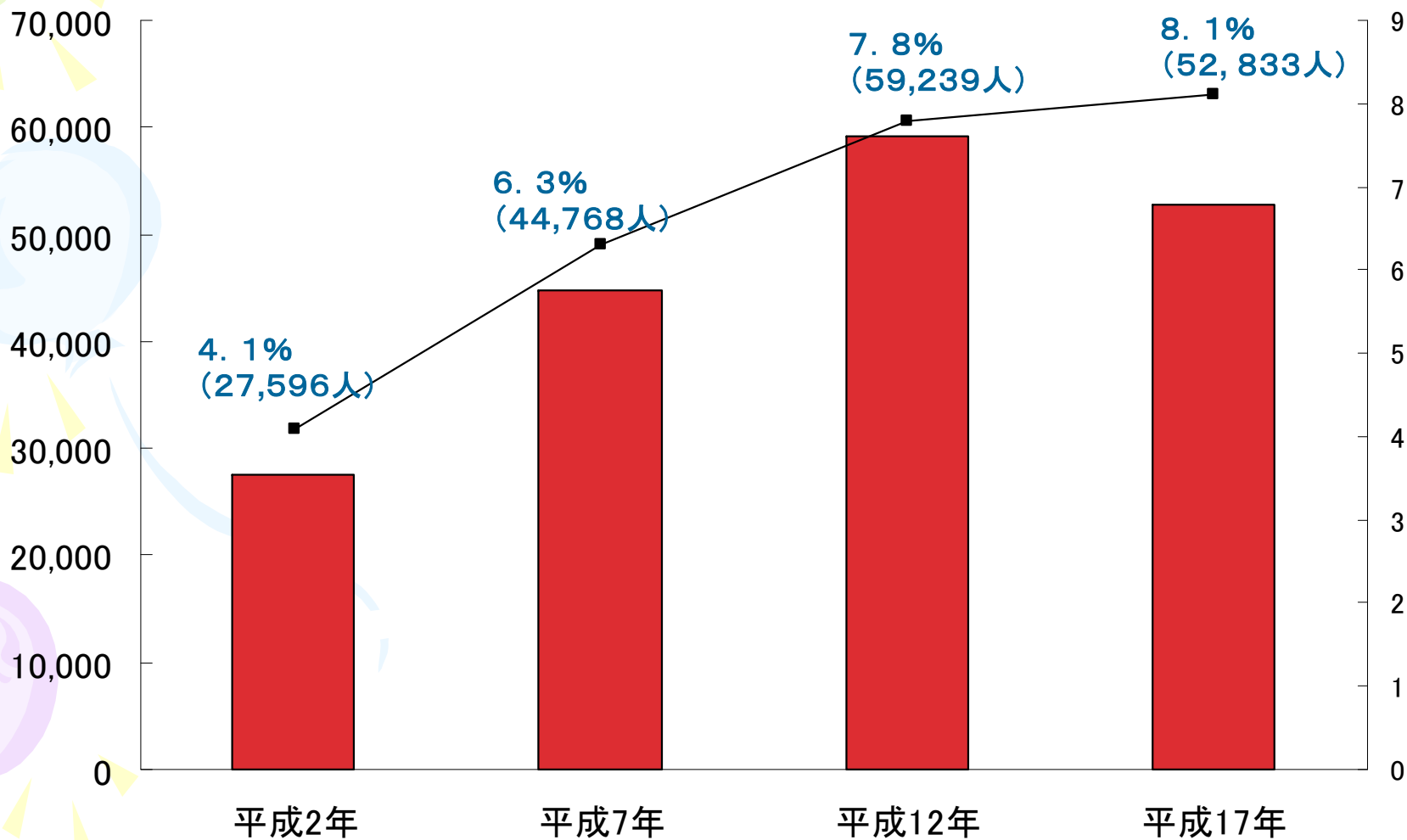


約6,000人増

※ここでいう「フリーター」とは、「15歳～34歳」、「配偶者無し」、「雇用者」、「就業時間35時間未満」

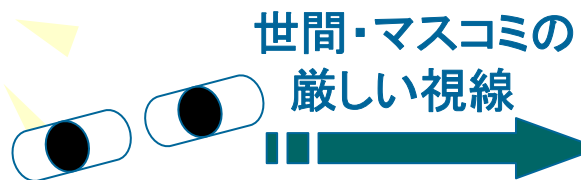
横浜市における15歳～34歳の若年無業者（ニート及び失業者）の推移

若年無業者は、数は減ったが、比率は増加している



以上の統計データの結果を解釈する仮説としては、

平成12年以降、「ひきこもり」状態にある若年者による犯罪が発生し、社会問題化（新潟の少女監禁事件や岡山のバスジャック事件等）



若年無業者
に心理的
切迫感



求職や就労に対
する意欲を喚起

平成12年以降、少子高齢化・人口減少社会の到来が本格化し、世帯規模の縮小や家族の高齢化が進んだ



親の扶養・介護



経済的理由から求職・就労
活動をせざるを得ない

若者の意欲、行動をアシスト



平成16年度、若者に向けた自立支援策が一斉に開始
（ヤングジョブスポット、ジョブカフェ、ヤングハローワーク、若者自立塾など）

ニート＝求職活動をしていない若者（非希望型・非求職型）の減少

求職活動をする若者の増加

彼らの意欲・活動が成就していない

就業できない

失業者の増加

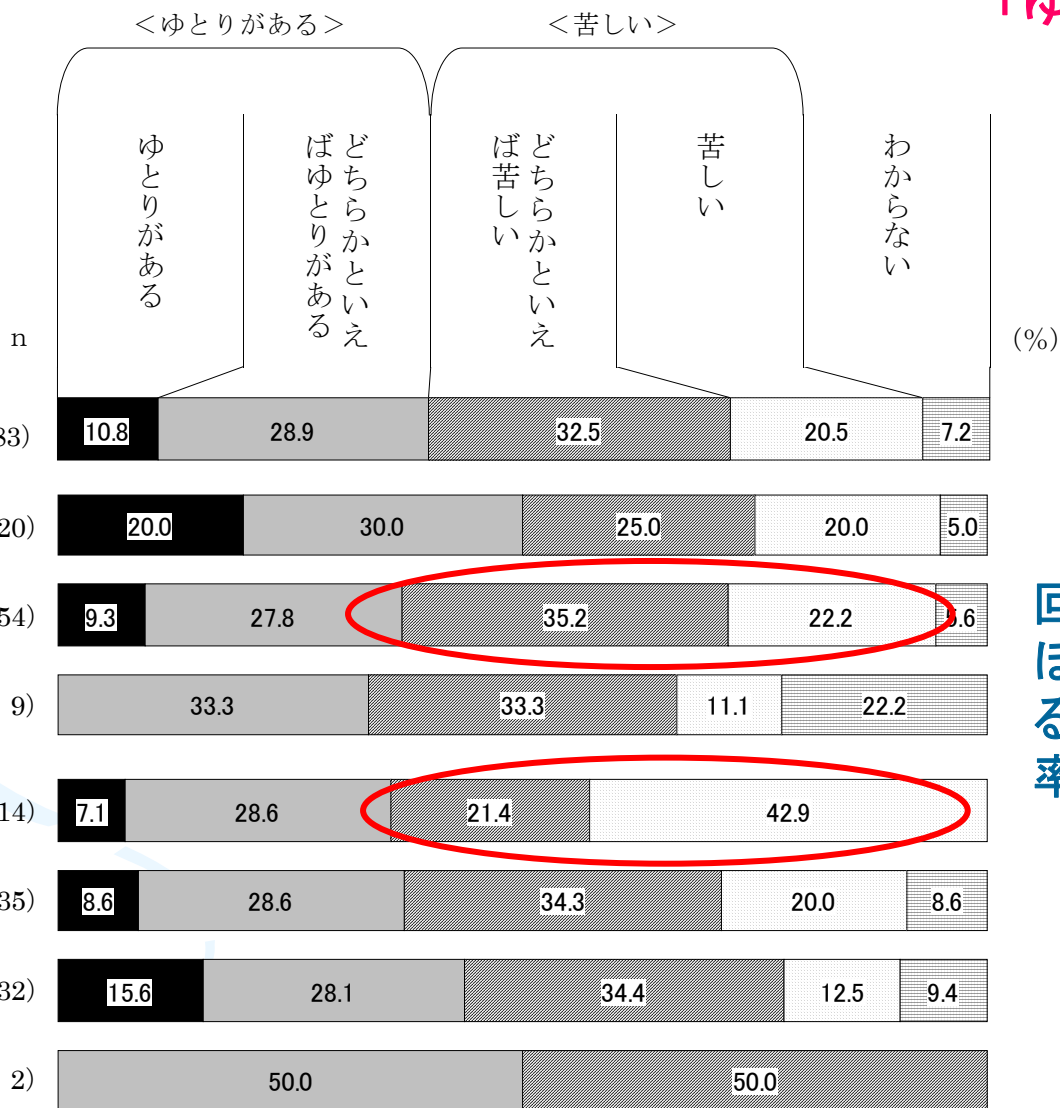
不安定な就業

フリーターの増加

調査結果

若年無業者を抱える家庭の経済的な状況について

「ゆとりがある派」4割
VS
「苦しい派」5割



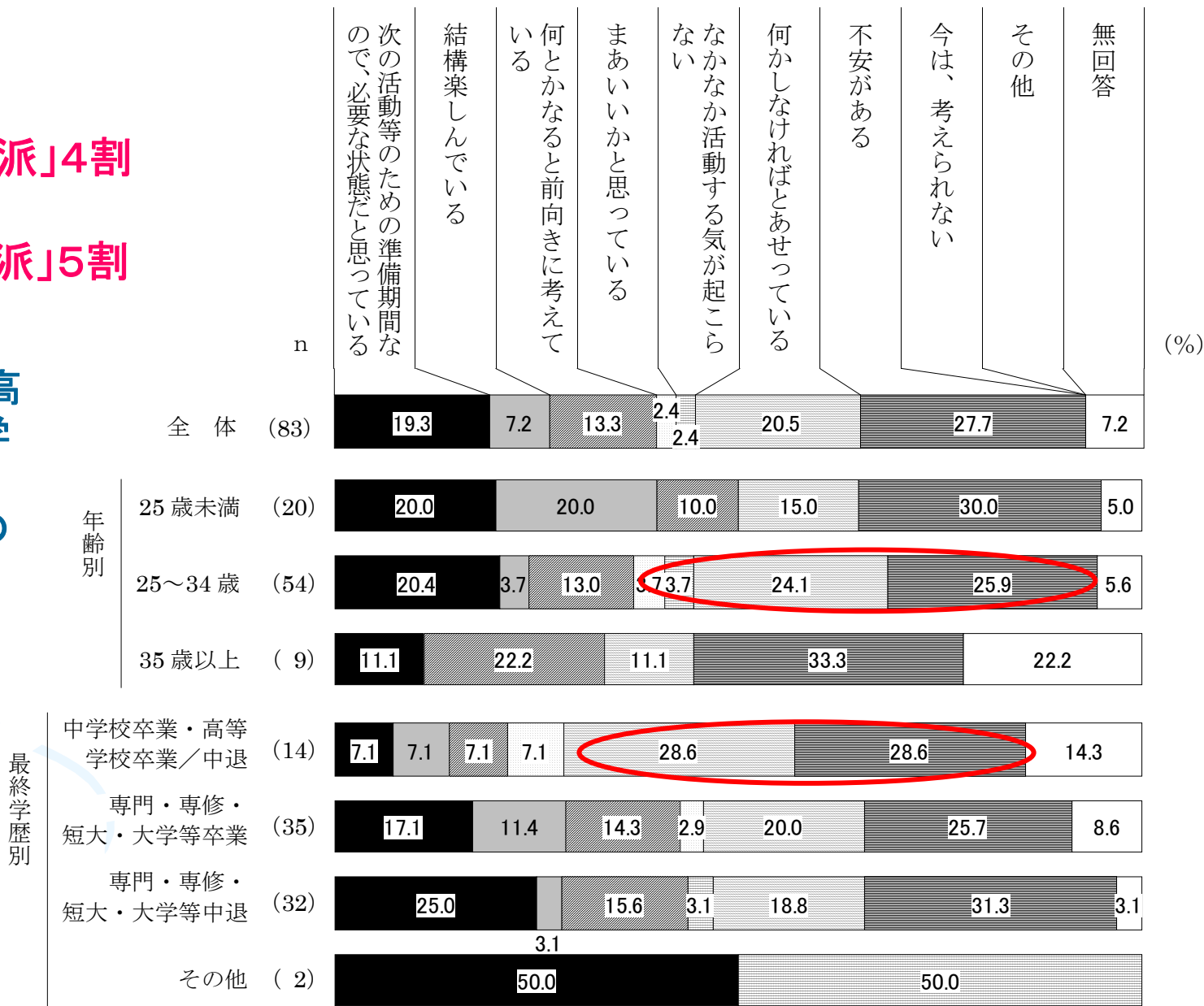
回答者の年齢が高くなるほど、また学歴が低くなるほど「苦しい派」の比率が高い

調査結果

若年無業者の自分自身の状態についての不安やあせり

「前向き・肯定派」4割
VS
「不安・あせり派」5割

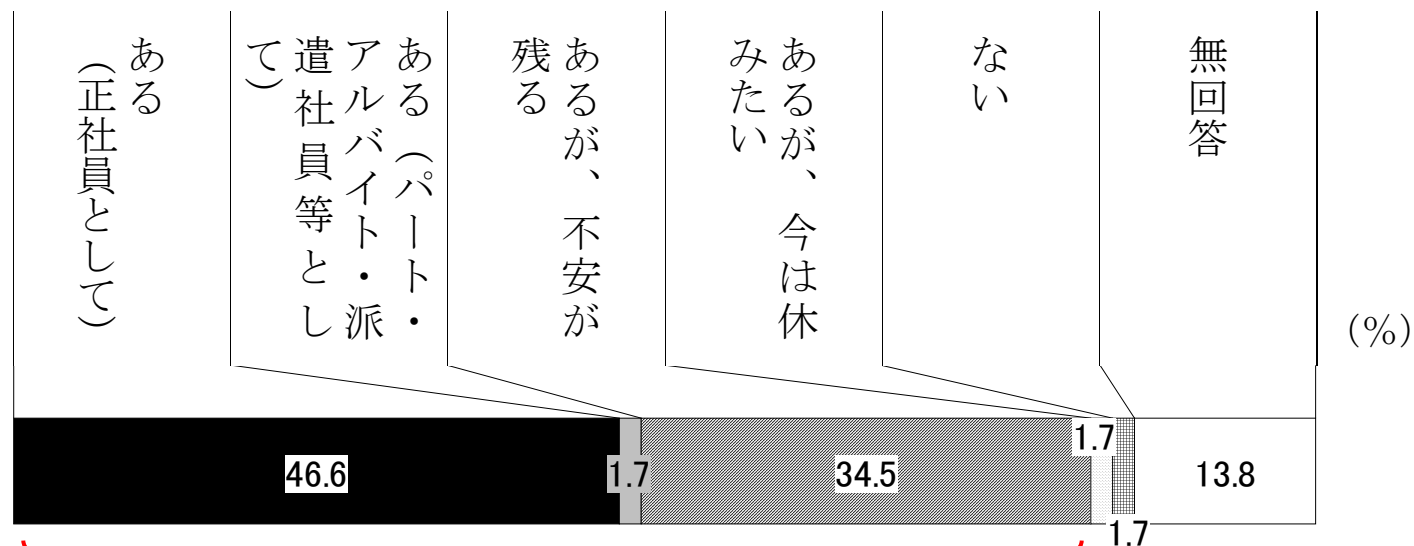
回答者の年齢が高くなるほど、また学歴が低くなるほど「不安あせり派」の比率が高い



調査結果

若年無業者の就労意欲

就労する意欲は、8割を超える無業者があると答えている。
特に「正社員として」が(46.6%)が多い。同時に「あるが、不安が残る」(34.5%)も3割台半ばとなっている。



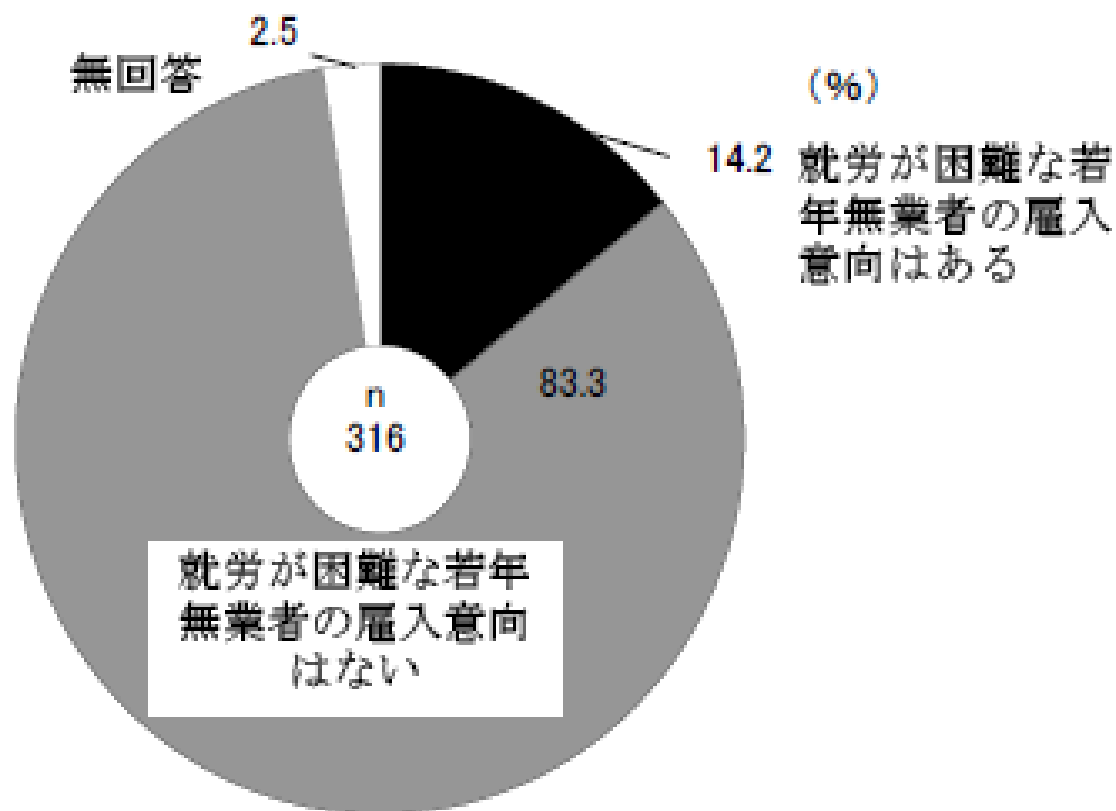
84.5%

⇒就労意欲が就職へと結びつかない原因として

- ・厳しい就職状況により就職活動に失敗し続けている。
- ・就労時に体験した過重労働や職場におけるいじめ等により精神的に傷つき次の就職活動に二の足を踏んでいる。

就労困難な若年無業者の受け入れ意向

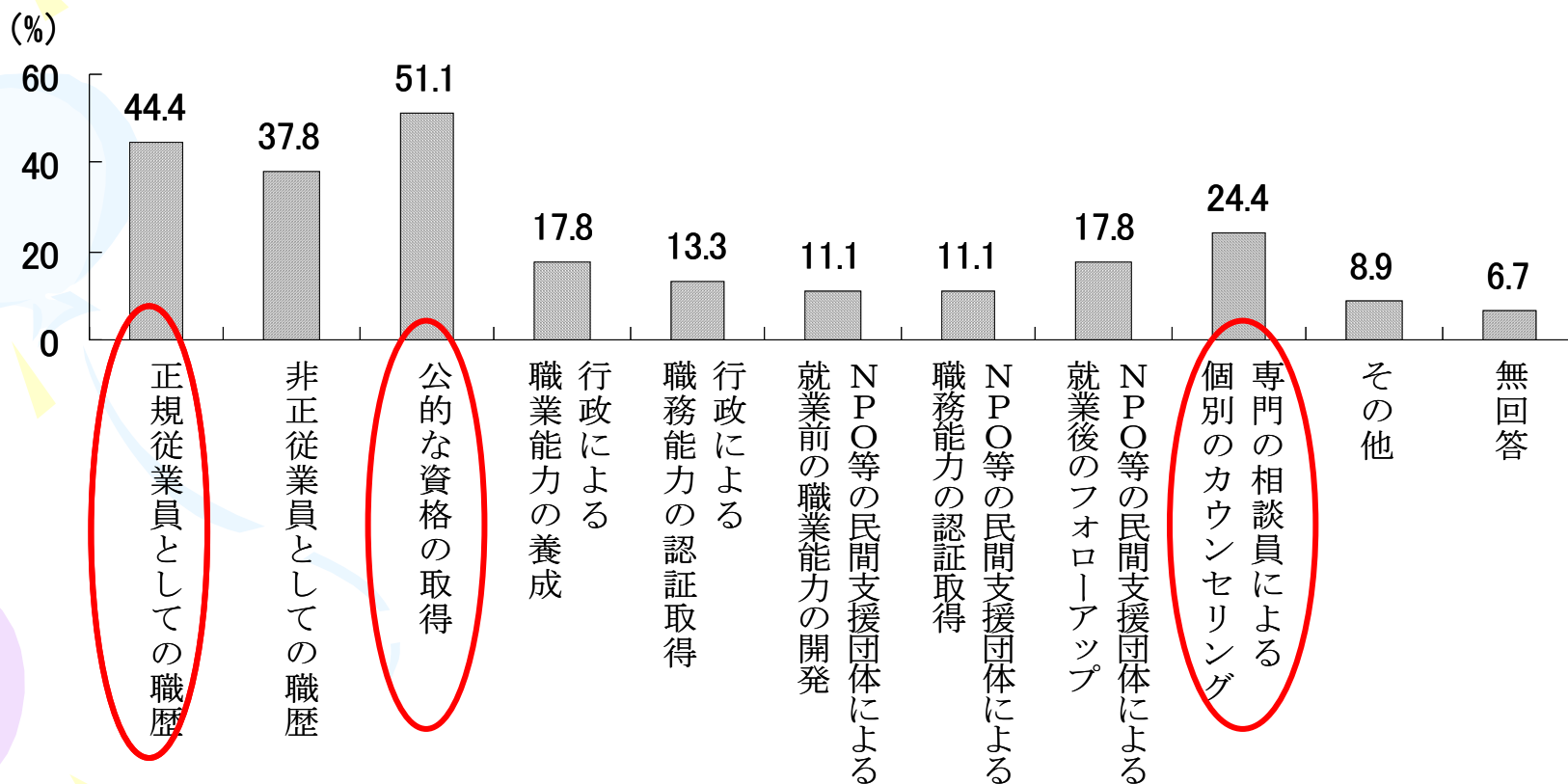
企業の8割がそもそも若年無業者に対する雇用意向が無いと答えている。



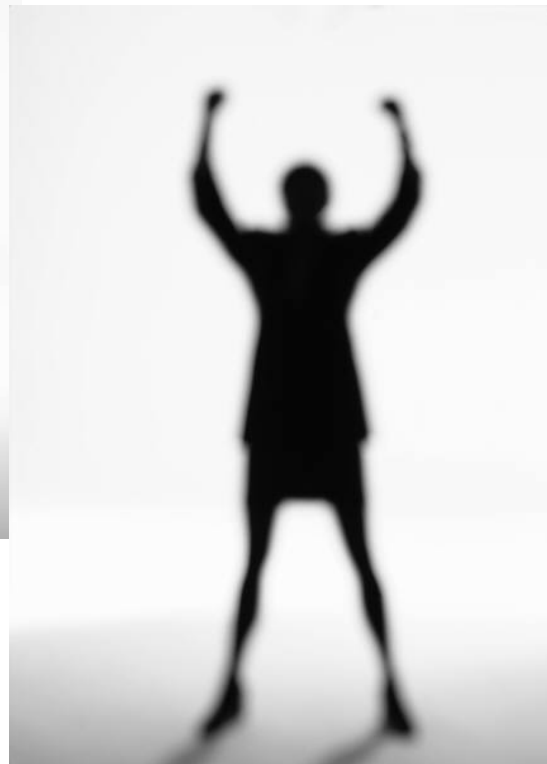
就労困難な若年者を受け入れるための条件

就労困難な若年者に求める条件としては、「正規従業員としての職歴」や「公的資格」など挙げる企業が多く、

1/4の企業が「専門の相談員による個別のカウンセリング」を挙げている。



自立支援策の方向性と事業プロジェクト



施策の基本的考え方

《その3》
関係機関・団体の
役割分担とネット
ワークによる支援が
必要

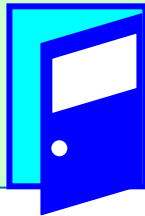
《その2》
年齢やライフステー
ジに応じた支援が
必要

《その1》
一人ひとりの若者
のニーズや状態に
応じた支援が必要

《その1》

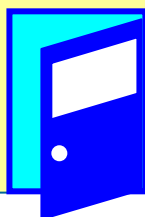
一人ひとりの若者のニーズや状態に応じた支援の必要性

「失業者」や「フリーター」を
対象にした相談支援窓口



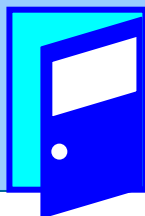
- 正規雇用される就職先の斡旋
- 求職活動のスキルやノウハウの伝授
- 本格的な職業訓練の実施

「ニート」を対象にした
相談支援窓口



- インターンシップなど職業体験プログラムの展開
- 様々な職業人を講師としたセミナーなど職業意識を喚起するプログラムの展開
- 就労相談を中心とした総合的なカウンセリング
- 共同生活による総合的な生活訓練プログラムの提供

「ひきこもり」を対象にした
相談支援窓口



- 電話や訪問による相談活動の展開
- 居場所づくりによるグループ活動
- 社会参加のためのプログラム展開



《その2》 年齢やライフステージに応じた支援の必要性



自立支援が重点的に求められる層

不登校児童の学習支援、社会参加の機会の拡充

ひきこもり、ニート状態の若者に対する社会体験の機会の拡充や再教育や就労支援のプログラムの充実など

ニート状態の若者への職業紹介や職業訓練等
（就労に直接的に結びつく施策）

青少年全般

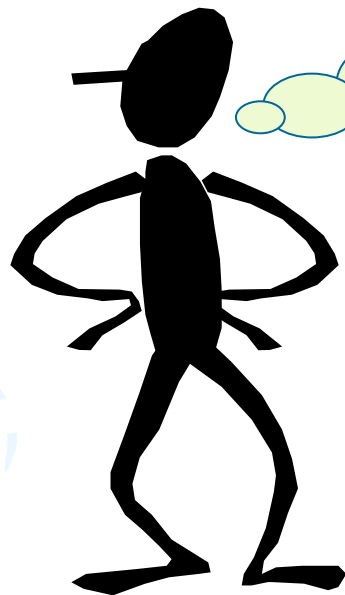
コミュニケーション能力をアップさせる教育プログラムの展開
（社会参加・職業体験など）

個々人の将来設計を支援するキャリア教育の展開

フリーターの正規雇用の促進や離職者への再就職機会の拡充など（若年者雇用に対する支援）

青少年の状態、ニーズ、年齢、ライフステージ
に応じた支援をすれば良い！

スーパー支援機関



《その3》

関係機関・団体の役割分担とネットワークによる支援の必要性

社会的自立から経済的自立へ(社会参加から就労へ)

若者自立塾

よこはま
若者サポート
ステーション

ヤングジョブ
スクエア
よこはま

かながわ
若者就職
支援センター

よこはま
ヤングワーク
プラザ

ひきこもりを支援する
NPO・親の会

職業訓練校・制度

市内の高校・専門学校・大学
(キャリア教育、インターンシップ事業等)

区役所(ひきこもりの居場所づくりや就労相談)

心の健康相談センター

青少年相談センター

地元企業(若年無業者の雇用促進)

ネットワークの核となる新たな施設の整備

職業的自立に向けた支援

よこはま若者
サポートステーション

社会的自立に向けた支援

青少年相談センター

ひとりで悩まないで 家族だけで抱えないで

22年度までに、市内
4か所に整備

両機関の支所的機能

地域ユースフラッグ

10月1日 1館目が保土ヶ谷区でオープン



で
1
ます

ひきこもり、不登校などの
思春期・青年期のことに関して、
青少年や、そのご家族の方の
ご相談をお受けしています。

相談は無料です
秘密は厳守します



- 開館…月曜日～日曜日 11:00～19:00
(日曜日・祝日・年末年始はお休みです)
※初めての来所の際は、事前にお電話をお願いします。
- 住所…横浜市保土ヶ谷区天王町1-30-17
- 対象…横浜市内にお住まいの、おおむね
15歳～35歳未満の青少年及びその家族
- TEL 045-334-3041
- FAX 045-334-3040
- ※運営は特定非営利活動法人リロードが行います。



お越しいただく際は公共交通機関をご利用ください。
電車…相鉄線「天王町」駅下車 徒歩7分
バス…市営バス 6,25,32,83,101,201,202,212系統
神奈中バス 横4,横51,横52,121系統
相鉄バス 浜5,廻10系統
「宮田町」下車 徒歩3分



地 域 ユ ー ス
プ ラ ザ



地域で支えよう
小さな芽と大きな心

2007年

10月1日 OPEN!



青少年の相談

地域ユースプラザとは……

- 働くまでのお手伝いを行っている
～よこはま若者サポートステーション～
- 社会参加までのお手伝いを行っている
～横浜市青少年相談センター～

上記の2つの施設と協力しながら、地域の中であなたの進む道のりをサポートしていきたいと思えます。

地域ユースプラザではこのような活動を行います

1 第一次的な総合相談

まずは電話相談から始まり、あなたの状況に合わせて情報提供、継続相談等を行います。

- 電話相談
 - 来所相談
- ※必要に応じて家庭訪問も行います

3 社会体験・就労体験

「居場所」に慣れてきた人を中心に、次のステップとして社会体験・就労体験を行います。

- ボランティア活動等の社会体験
- 商店街等での就労体験

地域ユースプラザ

2 青少年の居場所

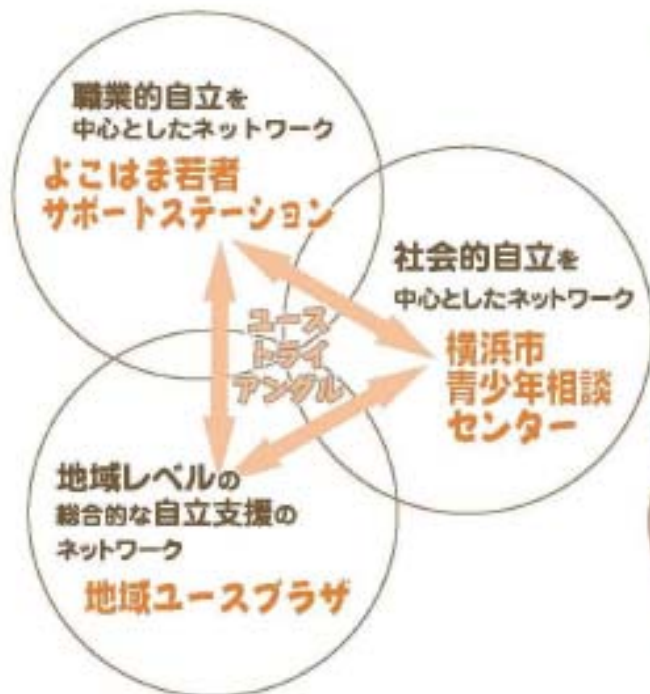
社会的自立を目指す青少年が、気軽に來ることができて、安心して過ごせる居場所をみんなで作っていきます。

- フリースペース
- 各種サークル活動
- パソコンコーナー

4 地域支援ネットワーク

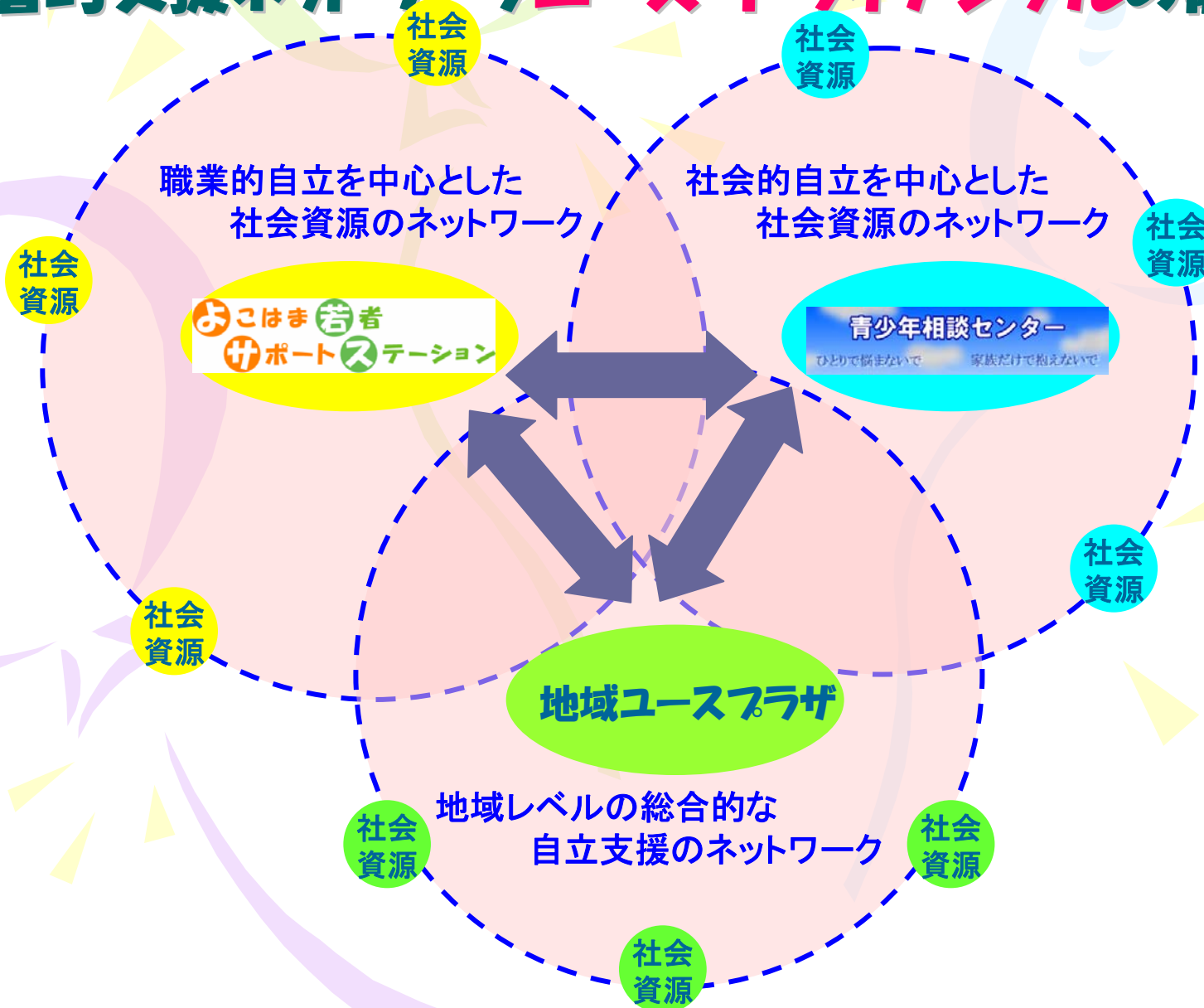
地域ユースプラザでは、地域のNPO法人等の団体や区役所との支援ネットワークづくりを行います。

- イベントの開催・参加
- 関係団体への情報提供



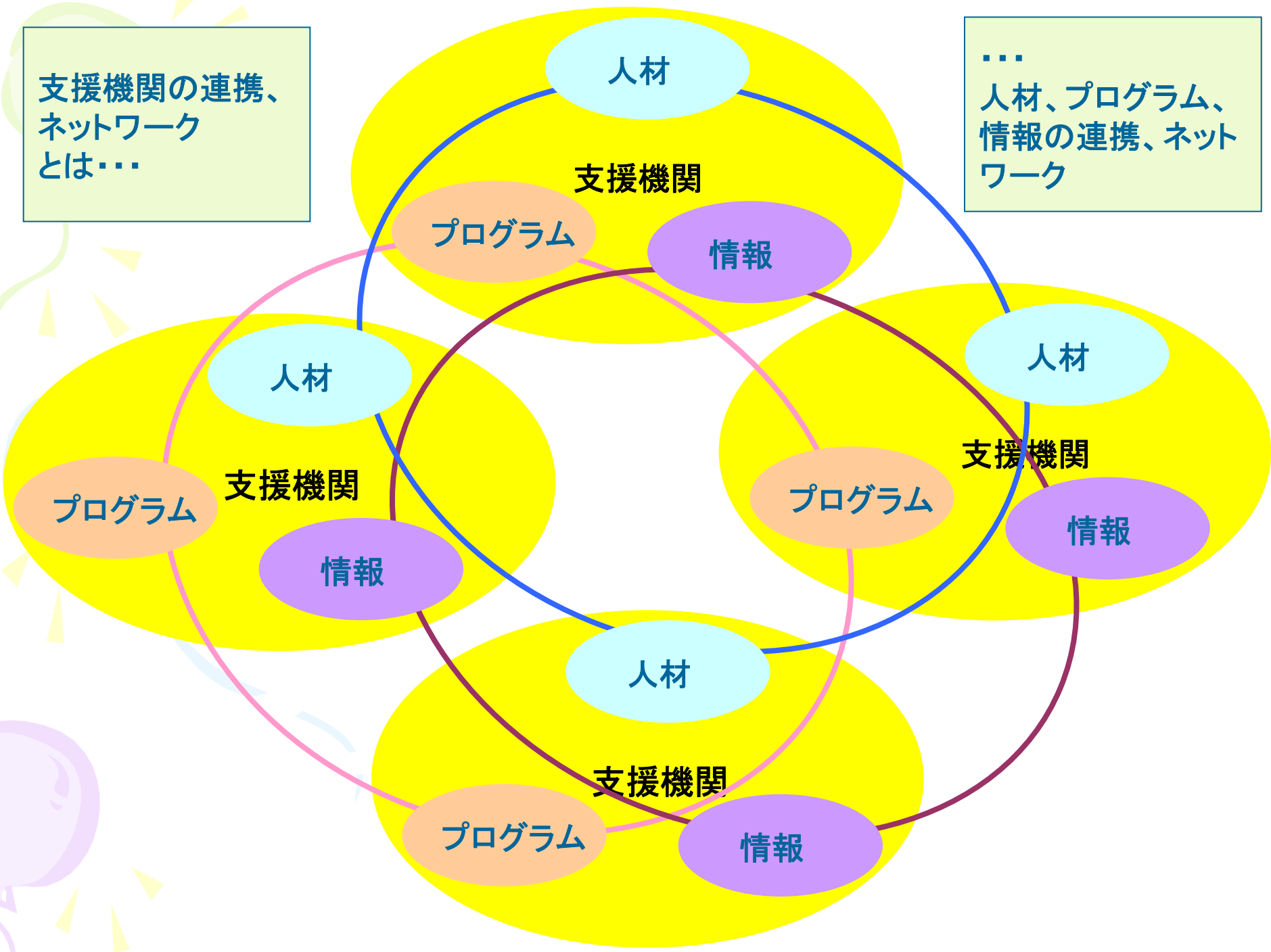
重点施策1

重層的支援ネットワークユース トライアングルの構築



支援機関の連携、
ネットワーク
とは…

…
人材、プログラム、
情報の連携、ネット
ワーク



重点施策2

インターネットを活用した情報・プログラムの共有・提供システム e-若者サポートステーションの形成

青少年自立支援サイト



《メニュー》

- ・ 自立支援の団体
及びメニューの紹介
- ・ 研修情報
- ・ e/ハローワーク
- ・ 職業適性検査
- ・ eラーニングメニュー
- ・ eキャリアメンター
- ・ メルマガ配信

市内中小企業

e-キャリアメンター

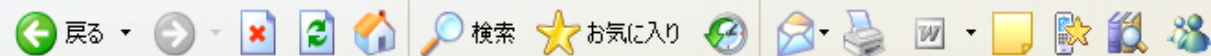
若者の自立支援に取り組むNPO等のネットワーク

(e若者サポートステーション)



市内の大学・専門
学校

横浜市
神奈川県、国 等


 横浜市こども青少年局
 こども・青少年の
 総合ポータルサイト

 ヨコハマ **はびねすぽっと**
 YOKOHAMA

 文字の大きさ変更
[大きく](#) | [小さく](#) | [もとの大きさ](#)
 サイト内検索
 キーワードをここに

 この場所は: [横浜市トップ](#) > [こども青少年局トップ](#) > [企画調整課](#) > 自立支援サイト

青少年自立支援サイト For You

あなたの自立をサポートします。

対象者・サービス内容に応じた市内の機関団体の活動内容の紹介と各団体のホームページの紹介。

- ▶ [まず電話してみる、相談してみる](#)
- ▶ [就職について相談してみる](#)
- ▶ [学ぶ、フリースクール](#)
- ▶ [市民活動、ボランティア活動をする](#)
- ▶ [就職について相談してみる](#)
- ▶ [就職に向けて生活を見直す\(若者自立塾\)](#)
- ▶ [就職に向けて自分を磨く\(専門学校\)](#)
- ▶ [自分にあった仕事を探す](#)

最新情報・お知らせ

- NEW** [07/07/04:「若者リバイバルフォーラム2007」8月4日開催 情報を掲載しました](#)
- NEW** [07/05/18: 青少年自立支援サイトがよいよ公開となりました！](#)
- NEW** [07/05/18: 自立支援団体の若者がこども環境学会を手伝いました](#)



最終打ち合わせの様子

レトロ観望れ市民に親しみ愛されていた横浜市磯子区の商店街、浜マーケットが4月27日火災となりました。地元の方々には再建に向けて全力で頑張っています。当サイトでは復興のための皆様のご支援、ご協力を呼び掛けてまいります。
[>>火災による義捐金のお願いについて](#)

青少年自立支援に向けた調査・提言・アクション

横浜市青少年自立支援研究会の活動 過程の報告と提言内容を紹介します

[>>詳しくはこちら](#)

答えが見つかるかもしれない生き方相談室

若者の悩みについてみんなで答えを探していくコーナーです

[>>このコーナーの説明](#)

クリップボード (22/24)

アイテムは収集されました。

重点施策3

プログラム開発と人材育成の協働システム

「横浜キャリアコンソーシアム」の形成

「横浜キャリアコンソーシアム」を形成する
ネットワーク

支援機関・
団体

職業訓練プログラム
開発プロジェクト

専門学校
サポート校

市内企業
社会福祉法人
等

キャリア・メンター制度
開発プロジェクト

キャリア教育プログラム
開発委員会

小・中・高

市内大学

就職率100%を目指す！
多様な職業訓練プログラムの開発

若年無業者のニーズや生活実態にあった柔軟かつ多様な職業訓練プログラムを、福祉、IT、などの業種に応じて研究開発する。

横浜型キャリアメンターシステム
の開発

こども・青少年の社会・経済的な自立を1対1対応で支援する横浜型キャリアメンターシステムを研究開発する。

小・中・高生へのインターンシップ、
キャリア教育プログラムの開発

次世代育成支援の目的でインターンシップやキャリア教育のプログラムを研究開発する。

職業訓練プログラム開発の実例

専門学校、NPOとの連携による就労支援プログラム

専門学校

- ・職業適性やニーズ、進路等についての相談・助言
- ・個々の仕事についての基本知識を学ぶ研修講座の開催

若者の自立を支援するNPO等

- ・短期的な職業実習プログラムの提供
- ・個別相談などメンタル面でのサポート

横浜市

- ・各団体機関との連絡調整・事業コーディネート
- ・広報・情報発信
- ・事業の評価検証

・幅広い学習メニューや訓練ノウハウが活かせる。

・受け入れがスムーズ
・実習を通じてメンタルサポートが可能

横浜駅西口に集積する就労支援施設、専門学校

首都高速

神奈川駅

横浜駅

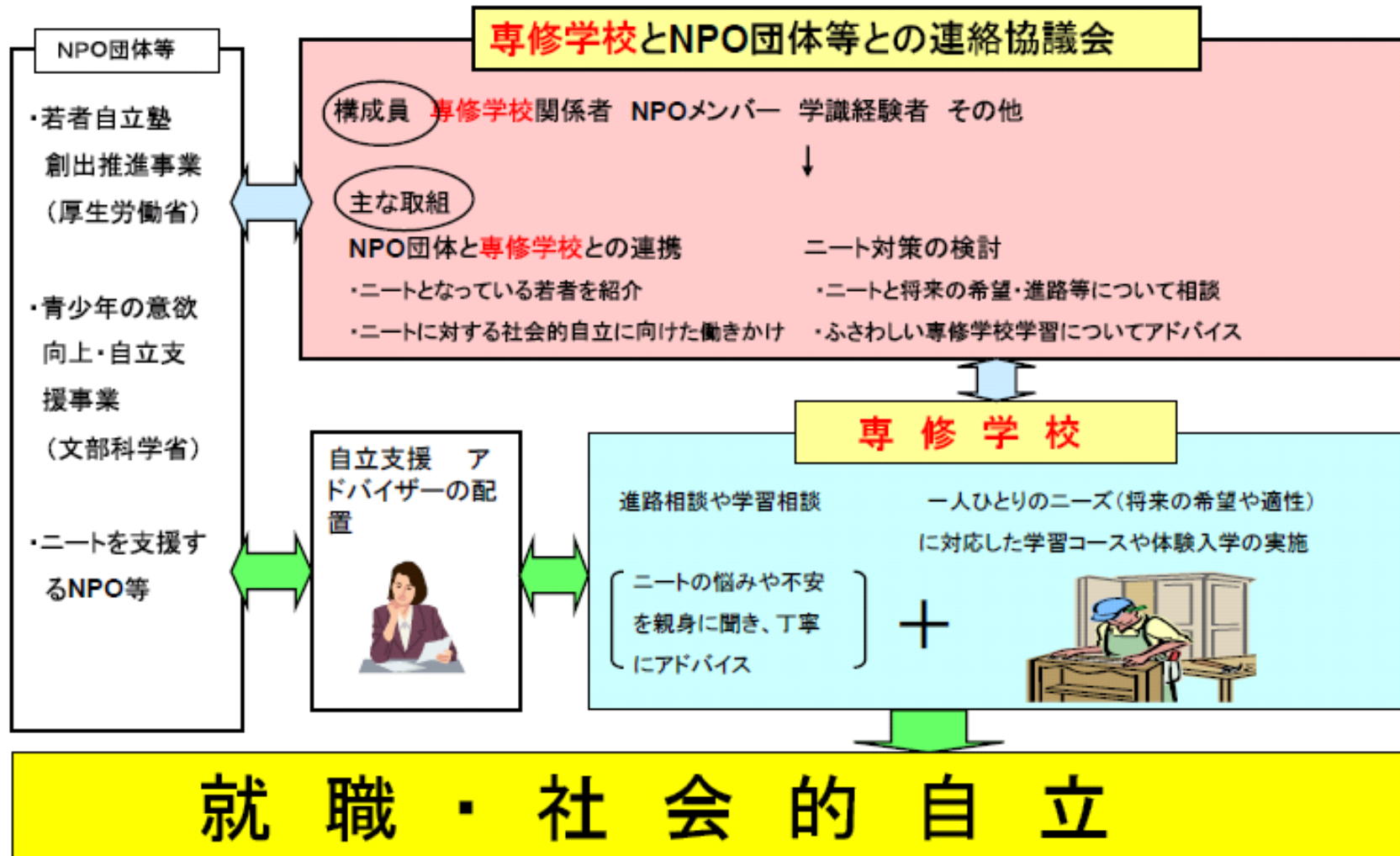
平沼駅

- 就労支援施設
- 専門学校 (神奈川県専修学校
各種学校協会の会員校)



文部科学省「専門学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」

NPO団体等と連携したニートに対する自立支援プログラム



よこはま若者リバイバル講座

10日間程度

事業調整会議

参加希望者対象オリエンテーション

自立支援個別相談
(ユースポート横濱のスタッフが担当)

専門学校での
研修

NPO等での
職場体験

個別フォ
ロー

IT系 講座 「情報科学専門学校新横浜校」
「すぺーす・あとむ」でのWEB制作・PC保守

福祉系 講座 「横浜リハビリテーション専門学校」
「たすけあいゆい」での介護

保育系 講座 「横浜保育福祉専門学校」
「楠の木学園」での実習

ビジネス系 講座 「情報科学専門学校横浜西口校」
「K2」での店舗小売実習

自立支援個別相談
(ユースポート横濱のスタッフが担当)

事業総括

An aerial photograph of the Yokohama waterfront. On the left, a prominent white, curved modern building stands out. In the center, a large Ferris wheel is visible, surrounded by colorful structures and a parking lot. The water of the harbor is in the background, with several ships docked at the pier. The overall scene is a mix of modern architecture and recreational facilities.

横浜市の青少年自立支援施策 (追加資料)

平成20年9月18日

横浜市こども青少年局

若者サポートステーションの実績

総来所者数 : 11,912人 (1日平均 32人)
(平成19年12月~20年3月)

19年度実利用者数: 415人

年齢	15~18	19~22	23~26	27~30	31~34	35~	不明
人数	22人	74人	116人	136人	62人	1人	4人
割合	5%	18%	28%	33%	15%	0%	1%

居住地	横浜市	市外	不明
人数	264人	147人	4人
割合	64%	35%	1%

学歴	中卒	高卒	高校中退	大・短卒	大・短中退	専門卒	専門中退	在学中	不明
人数	11人	72人	27人	142人	34人	41人	20人	26人	30人
割合	3%	17%	7%	34%	8%	10%	5%	6%	7%

職歴	有り	無し	不明
人数	344人	54人	17人
割合	83%	13%	4%

正規雇用	非正規雇用	不明
100人	233人	11人
29%	68%	3%

相談・支援の状況

年度末の状況	終結	継続中	中断
人数	195人	104人	116人
割合	47%	25%	28%

- ・病状が悪化し、本人から中断の申し出があった。
- ・原因はわからないが来所しなくなった
- ・提供するプログラムと本人のニーズが合わず、相談の中で中断することになった。

進路決定	進学決定	他機関へリファー
80人	4人	111人
47%	25%	28%

相談内容

相談の主訴(初回相談時)	件数	割合
働く意欲がない	17	4%
今すぐ働けないが自立したい	138	33%
働く意味・目的がわからない	21	5%
アイデンティティの混乱	155	37%
キャリアに対する不明確さ	180	43%
経歴・経験による不安	110	27%
自分なりの就職活動の方法がわからない	119	29%
労働環境・条件への不安・恐怖	45	11%
人間関係への不安	92	22%
職業スキルへの不安	30	7%

相談内容の背景	件数	割合
過重労働の経験がある	36	9%
職場のいじめを経験した	17	4%
対人トラブルを経験した	72	17%
人間(友人)関係を持ったことがない	9	2%
受験や就職活動でつまづいた	90	22%
学校でのいじめを経験した	46	11%
不登校やいじめの経験がある	141	34%
身体の疾患や障害がある	32	8%
知的障害がある	14	3%
精神疾患・障害、発達障害がある	163	39%
虐待を経験している	12	3%
その他家庭問題がある(宗教・金銭・離婚・養育等)	68	16%
生活保護を受けている、経済的に苦しい	14	3%